

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」天白校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を遵守したスペースを確保しています。	パーティション等の仕切りの数が不足することがあったため、パーティションを増設しました。
	②	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる人数を配置しています。	人員の余裕がないため、増加に向けての努力をしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		校舎内は支援室、フリースペースともにフラットになっています。	人工芝のすべり止めが弱かったので、強度を増したものに変更しました。玄関やトイレの段差が気になるところではありますが、職員が補助をするなどで対応しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日、清掃を行うように努めています。	特に絨毯は粘着シートの使用も増やし、清潔に保っています。また、校舎周りも定期的に清掃しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		上長の巡回による確認も行っています。	結果を受けてさらに質を高めていけるようつなげています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年アンケートによる評価をしています。	保護者様の意向の把握、改善に努めています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当社 HP にて公開しています。	今後も継続して当社 HP にて公開していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		現在は、利用者・社内の二者評価を取っておりません。	第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月 WEB による研修を実施しています。年 5 回程度事例検討会も実施しており、研修内容も報告書の形で全職員に周知している。	事業所内での勉強会・事例検討も行っていきます。
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントシートや発達検査の結果をはじめ、標準化されたアセスメントツールを	今後も継続してアセスメントを行っていきます。

支援の提供				使用し、計画作成に活用しています。		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		NCプログラムおよび、SDQプロフィールを使用しています。	今後も継続してアセスメントを行っています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		それぞれの支援項目につきながりを持つように支援内容を計画しています。	将来につながる支援内容を考慮し、支援項目それぞれの計画を立てるよう努めてまいります。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		朝礼時に現状を確認し、支援内容を確認しながら行っています。	変更すべき点については、その都度対応策の考案や支援内容の変更等を常に心掛けてまいります。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		基本的に個別療育は担当指導員が、集団療育はチームで立案しています。利用者様によっては複数担当制をとっているため、個別療育の場合も互いに意見を出し合い、立案しています。	複数の意見から支援内容が計画されるよう、複数担当制を今後も行ってまいります。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		朝礼時に支援中の様子も報告し合い、飽きさせない工夫を取り入れています。	利用者様の様子に合わせて、楽しさを工夫してまいります。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		利用者様の状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて計画しています。	今後も年齢等も考慮しながら、他の利用者様との2名での集団療育もさらに計画して行ってまいります。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼時に、その日の支援内容や役割分担を確認しています。	支援内容・役割分担を明確にし、支援の質の向上につなげてまいります。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		夕方の支援については、打ち合わせをする時間がないため、翌朝の朝礼時に振り返り、気付いた点等を共有しています。	今後も継続して行ってまいります。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録は漏れなく、必ず記録しています。	朝礼時に支援の様子の伝達も行っており、支援の検証・改善につなげています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		法令に定められた期間ごとにモニタリングを実施し、計	保護者様からのモニタリングだけでなく、複数担当制の利用者

				画の見直しの必要性を判断しています。	様には担当者全員のモニタリングを行い、計画書の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者と、その利用者様の支援担当者が出席するようにしております。	複数担当制の利用者様には、サービス担当者会議の内容をフィードバックし、担当者会議を行っております。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		現状では対応できていません。	これまでできていなかったため、今後の取り組みとして地域との連携から始めています。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子ども等を支援しておりません。	現状では職員体制の問題もあり、受け入れについては検討しておりません。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子ども等を支援しておりません。	現状では職員体制の問題もあり、受け入れについては検討しておりません。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		児童発達支援の利用者様に対しては現状では対応できていません。	これまでできていなかったため、今後の取り組みとして地域との連携から始めています。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		児童発達支援の利用者様に対しては現状では対応できていません。	これまでできていなかったため、今後の取り組みとして地域との連携から始めています。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		天白区の協議会に参加しております。	今後も継続して参加してまいります。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		現状では対応できていません。	これまでできていなかったため、今後の取り組みとして検討してまいります。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		天白区の協議会に参加しております。	今後も継続して参加してまいります。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援のたびにフィードバックを行い、保護者様との情報共有を行っています。	今後も継続して行ってまいります。
㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	保護者様からの相談に応じたり、家庭でのかかわり方について、情報提供を行ったりしています。	今後も継続して行ってまいります。	

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に事業所の詳細や利用者負担額等について説明をしています。	今後も継続して行ってまいります。
	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画書を作成する都度内容の説明をし、同意を得ています。	今後も継続して行ってまいります。
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		契約時に事業所の詳細や利用者負担額等について説明をしています。	今後も継続して行ってまいります。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現状では対応できていません。	今後希望があるようでしたら検討してまいります。
	㉔	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情への対応については、契約時に重要事項説明書にて受付窓口を説明し、事業所内にも相談先を掲示しています。	今後も継続して行ってまいります。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		事業所内に活動内容やイベントの案内を掲示しています。また当社 HP のブログによりイベントや防災訓練などの報告も行っています。	今後も継続して行ってまいります。
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。	今後も継続して行ってまいります。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		意思の疎通や情報伝達のための特別なツールは使っておりませんが、口頭でお伝えしたり、掲示板に掲示することで、情報伝達をするようにしています。	今後も継続して行ってまいります。
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている		○	日常的に教室開放などは行っておりませんが、イベント開催時は地域の機関に協力してもらうなど、地域とかわりを持ちながら事業運営を図っております。	今後も継続して行ってまいります。
	非常時等	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルを保護者様が閲覧できるよう、フリースペースに設置することを検討しています。

の 対 応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月1回地震や水害などを想定して避難訓練を実施しています。	今後も継続して行ってまいります。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメント時に服薬やてんかん発作等については確認しています。予防接種については確認をしております。	今後も継続して行ってまいります。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アセスメント時に食物アレルギーについては確認していますが、医師の指示書までは確認しておりません。支援児に該当物質と接触する機会は殆どありません。また、食品を用いたイベント時には事前に食物アレルギーについて個々に確認を取ってから実施しています。	今後も継続して行ってまいります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例が怒った際には、報告書を作成・保管し、職員間で共有するとともに、上長への報告も行っております。	今後も継続して行ってまいります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		校舎内で定期的に虐待研修を実施しています。	今後も継続して行ってまいります。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		どのような行為が身体拘束に当たるのかについては、職員内で共通認識を持っています。身体拘束の必要性がある利用者様がないため、実際に計画書に記載している例はありません。	今後も継続して行ってまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」天白 校

保護者等数（児童数）：10 回収数：9 割合：90%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	0	0	0		今後もパーティション等で仕切って、スペースの確保に努めます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	0	0	0		専門性を高められるよう、今後も一層の努力をしてみたいです。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1	0	0		今後も継続して努めてまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	0	0	0		清潔さを維持し、感染症の時期には対策も十分に行ってまいります。また、においなど感覚過敏の利用者様も多いので、職員に周知徹底するよう努めてまいります。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	9	0	0	0		今後も保護者様のニーズや利用者様の様子から支援計画を作成してまいります。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	0	0	0		今後も継続して努めてまいります。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0	0		今後も保護者様のニーズや利用者様の様子から支援計画を作成してまいります。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	2	0	0		複数担当制を増やしてきており、それぞれの職員の視点から支援を計画しています。

保護者への説明等	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	4	2	現状では特にそのような機会を設けておりません。今後、希望があれば検討してまいります。
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	0	0	0	契約時に説明を行っています。ご質問等がある際にはその都度対応させていただきます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	9	0	0	0	個別支援計画書を作成する都度に内容の説明をし、同意を得ています。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	2	4	1	現状では特に時間を設けて行ってはおりません。
非常時	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	1	0	0	毎回の支援の終了後に必ず保護者様に支援内容と状況についてお伝えしています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	3	1	0	モニタリングの際に行っております。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	3	5	現状ではそのような形での支援を行っておりませんが、今後希望があるようでしたら検討してまいります。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6	1	0	2	今後も継続して相談や申し入れに対しての対応をしてまいります。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	0	0	2	意思の疎通や情報伝達のための特別なツールは使用しておりませんが、口頭でお伝えしたり、掲示板に掲示することで、情報伝達をするようにしています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	3	0	1	事業所内に活動内容やイベントの案内を掲示しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7	0	0	2	個人情報記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。
⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明され	4	1	1	3	各マニュアルを保護者様が閲覧できるよう、フリース	

等 の 対 応		ているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか						ペースに設置することを検討しています。
	②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1	1	3		毎月 1 回、地震や水害などを想定して避難訓練を実施しています。
満 足 度	②	子どもは通所を楽しみにしているか	6	1	0	2		今後も、楽しく通える場所として感じてもらえるよう努力してまいります。
	③	事業所の支援に満足しているか	7	0	0	2		今後も、満足していただけるよう努力してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。